

2020・7・17, 26

布礼別林道のチョウたち

7月17日

7月に入って、いよいよな蝶が飛び出している。さて家の近く（車で5分）の布礼別林道はどんな感じになっているかな、オオイチの♀に会えたらラッキーと行ってみる。



いつもの林道の、いつもの水たまり。エゾスジグロの集団吸水。今回もコロナ自粛のためか蝶屋さんの姿は無い。



オオイチのポイント近くの原っぱではゼフが盛んにテリトリー争い。ジョウザンミドリでした。下草で鳥の糞で吸汁している個体も。

その原っぱのスミにあるオオイチが発生するヤマナラシの枝を見に行くと、たくさん卵がついていた。



林道の先のオオイチの♀をよく見る場所に車を止め、蛹殻のあったヤマナラシの枝には1齢幼虫がいた。季節の進みが速すぎる。



あとはスジグロチャバネセセリが発生して吸水(吸い戻し)。これも早いね。
ウラキンも吸水。シータテハもたくさん路上で吸水。これはちょっと夏型の変異を見るために採集。この日はこれにて終了。



7月26日

7月も後半。またいつもの布礼別林道へ。



いつもの林道の、いつもの水たまりにエゾスジグロの集団吸水。

まずは路上吸水のチョウたちの観察。



新顔のアカタテハ



これは一見アカマダラに見えるが、サカハチのみ



ウラギンスジヒョウモンの♂
あまり見ることはない。

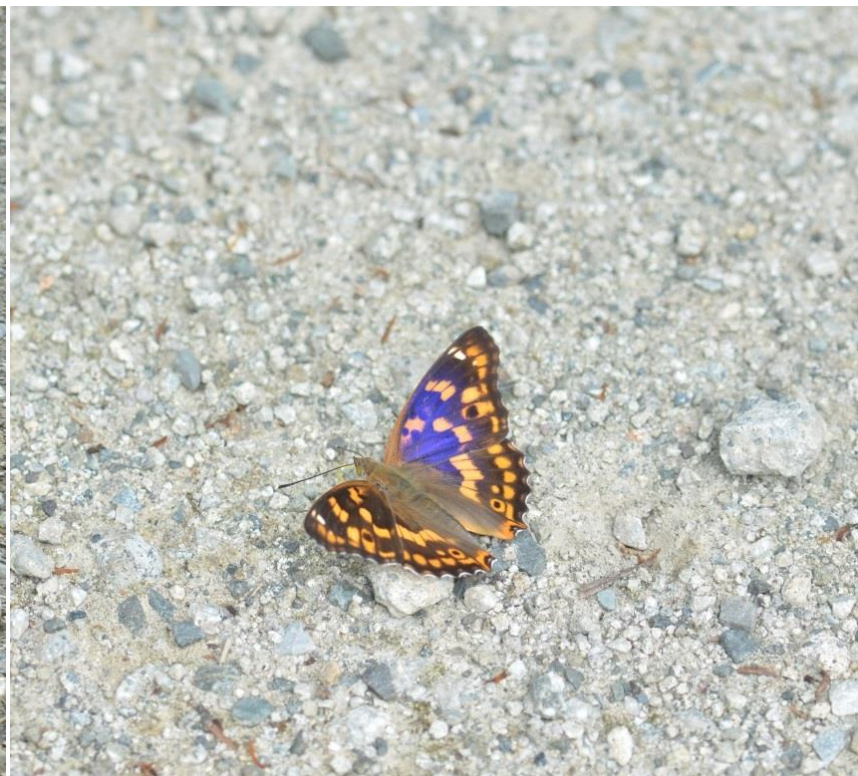


クジャクチョウ。
相変らずの美しさ。

路上吸水、花形役者の一人はコムラサキ。



なかなか敏感で近づけない。
シートも見える。



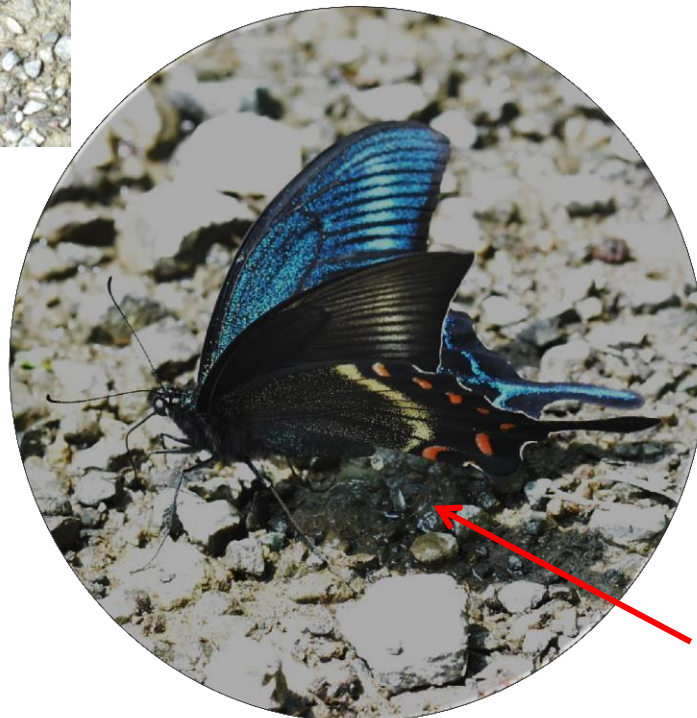
紫ピカリもなかなか難しい。

花形役者のもう一人はミヤマカラスアゲハ。



5～6秒ごとに腹端から水を放出している。(→)

なんだかだらしなく翅を広げていた。



消し炭に集まるチョウ。



シータテハ。

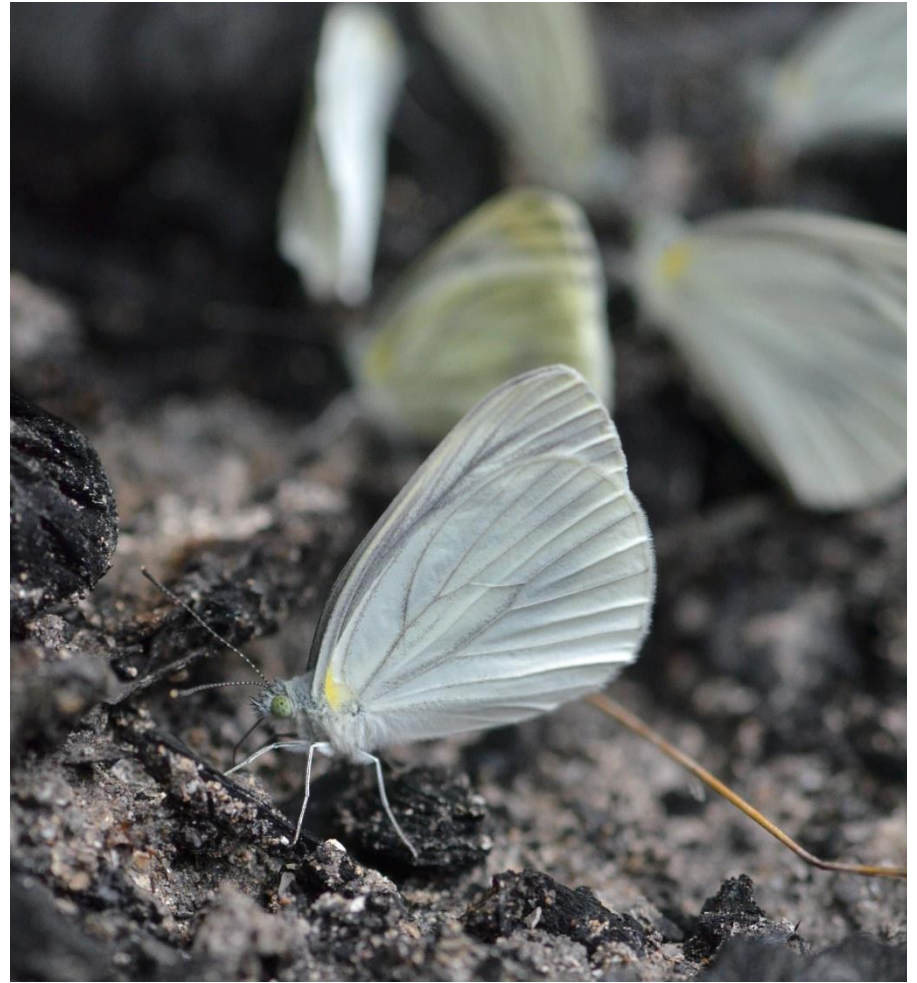
エゾヒメシロチョウの♂
美しい。



ピエリス(*Pieris*)も来ていた。2種の違いがわかりますか。



エゾスジグロシロチョウの♂



スジグロシロチョウの♂

クサフジの草むらでは。



エゾヒメシロ♀が探草飛翔



カバイロシジミの2齢

ヤマナラシでオオイチは。



2齡幼虫

1齡幼虫

8月に入ると3齡が越冬のための
の巣作りを始めます。
こんどはそれを見に来よう。



おわり